



08年度 下期

はあとふる基金寄贈報告



08年下期 寄付先団体より喜びの声が続々と届いています。

プリンターを更新できました！

—財団法人 アジア保健研修財団 アジア保健研修所(AHI)—

【紹介】アジアから研修生を受入保健・医療向上を目指す(日進市)

AHIはアジアの保険・医療向上を目的として、アジアからの研修生の受入を行っているがその費用は約5000人の賛助会員・寄付者の支援でなっています。寄付者のデータ管理及び日常使用しているプリンターの更新は資金的には厳しく、壊れかけたプリンターの紙詰まりなどをなおしながら事務管理をしておりました。今回の寄付で2台のプリンターを購入することができました。



故障中のプリンター

子どもたちの遊び場、屋上の補修工事が完成！

—社会福祉法人池内福祉会かわらまち夜間保育園—

【紹介】朝から深夜の長時間に渡って保育を行い、働く父母の支援を行う(名古屋市)

築20年の園舎屋上にプールを設置して排水もしている為、コンクリートへの負荷もあり防水工事などが必要でした。行政からの補助金は50年たたないと支給されず、困っていましたが、今回、修復の費用を寄付し改修工事を実施することができました。



足元が危険な床でした

けがの心配もなく子ども達も思い切り遊べます！

「低学年児童用ビブスを購入！

—特定非営利活動法人 子育て・子育てNPOスコップ—

【紹介】刈谷市の青少年育成、家族の絆を啓発する事業(刈谷市)

刈谷市の小中学生を対象のキッズクラブで、森などの自然の中で遊んだり、フットサルやドッジボールなどで体を動かしたりしています。活動中の低学年の児童の安全管理のためのビブス購入することで、安全に楽しく活動ができるようになりました。



電化製品を購入することが出来ました！

—社会福祉法人 いずみサポートハウス ふらっと—

【紹介】障がいのある方が共同生活するグループホーム(三重県)

障がいのある方が住み慣れた地域で暮らすためのグループホーム つくしの家第二(ケアホーム・短期入所事業所)開所にあたり、資金めどがつかない電化製品(冷蔵庫、洗濯機2台、テレビ)を購入できました。



ケアホーム利用者さんから「これどうしたん」「すごいな〜」「ええやつやな」と喜びの声が聞こえます♪

コンクリートむき出しの部屋の内装工事が完成！

—NPO法人 育て上げネット中部 虹の会—

【紹介】ニートひきこもりの若者の自立支援とその親のための会(安城市)

3月までは、安城地域サポートセンター(NTTビル)の2階を借用しジョブトレーニングの作業場及び各種のワークショップを実施していましたが、4月から借用期限が切れ、コンクリートむき出しの花ノ木ビル3階で実施していましたが、



床も壁もきれいになりました

園舎の床の補強工事ができました。

— NPO法人 ももの木保育園 —

【紹介】障がい児・その他の保育や療育(額田郡幸田町)

木造園舎の老朽化で危険な状態でしたが、今回床補強工事費用の寄付により、安心して保育ができるようになりました。



危険な床下

補強工事が終わった床下

障がい者が働く事を知ってもらうDVDが完成！

—NPO法人 くるくる—

【紹介】刈谷市を中心に障がい者の自立生活支援を行う(刈谷市)
健常者と障がい者が共に生きるために、世の中の理解を得、世の中を変えるために、障がい者が働くということにフォーカスしたDVDを作ることができました。
2009年7月18日デンソー本社で実施したDECOスクール刈谷のNPOブースでも映像を流して紹介しました。



DECOスクールに参加頂いた皆さん

作業場にエアコンを設置できました！

—特定非営利活動法人 みつね会 めだか工房—

【紹介】精神障がい者小規模作業所、障がい者就労支援を行う(西尾市)
倉庫内の作業場の職場環境整備(暑熱対策)に必要なエアコンを設置することができました。快適に作業ができるようになりました♪



(お知らせ)
この度、『デンソーはあとふる基金』様よりエアコンを寄贈して頂きました。ありがとうございました。



トイレ用介助リフトを設置できました。

—社会福祉法人ゲマインダハウス 知的障害者通所更正施設 青空の家—

【紹介】知的と身体の両方の障がいを持つ利用者の生活支援施設(名古屋市)
利用者の加齢化と障がいの重篤化に伴うトイレ用介助リフト費用を寄付しました。



これまで、利用者を抱いてトイレに載せていました。
リフトがついてとても便利になりました。

市民活動貸し出し用のプロジェクターを更新！

— NPO法人 NPO愛知ネット —

【紹介】防災・災害救援他、市民活動活性化を進める(安城市)
当団体が指定管理者となっている「刈谷市民ボランティア活動支援センター」を利用しているボランティア団体への貸し出し用プロジェクターが旧式で大きく重くて使い勝手が悪かったです。今回新品の軽量プロジェクターになりとても喜ばれています♪



プロジェクター式



プロジェクタ使用のようす

健康管理に必要な医療機器が購入できました！

— 身障者通所授産施設 サンフラワー分場「あじさいの家」—

【紹介】重度身体障がい者の作業・生活指導、機能訓練(三重県)
重度身体障がい者の作業・生活指導、機能訓練を行っていますが、健康管理に必要な医療機器がありませんでした。そこで、車いす用体重計、吸引(痰)器、血圧計、体温計などを購入する費用を寄付しました。



車いす用体重計



吸引(痰)器

環境整備活動に必要な備品を購入！

— 環境NPO愛知池友の会 —

【紹介】愛知池周辺の環境を向上させ、地域に貢献(愛知郡東郷町)
環境整備活動に必要な備品、チェーンソー、熊手、掛矢、ハンマー、穴掘、マルチシートを購入することができました。



購入した道具類



作成したベンチを愛知池周辺に設置
(後ろの建物はデンソー基礎研究所)

寄贈されたプリンターで新たな事業にチャレンジ！

－社会福祉法人はばたきオレンジホーム－

【紹介】精神障がい者の地域社会復帰支援(蒲郡市)

施設利用者への支払い工賃を確保するため、自治体からの名刺印刷など新規に受注するためのプリンターと、木の加工に必要な替刃を購入することができました。



壊れて困っていた調理器具を購入できました。

－社会福祉法人さわらび会 障害者福祉サービス事業所 明日香－

【紹介】知的障がい者の社会参加支援を行う(豊橋市)

授産施設でクッキーやカップケーキを作って販売しています。障がい者には業務用ミキサーなどは重すぎて使いこなせないため、家庭用の器具を使用しているが故障が多く困っていました。今回、ハンドミキサー、デジタルクッキングスケール、ヘラ、ターナーなどを購入することができ、とても助かっています。



イタリア中部地震被災者への復興支援金に

－【自然災害】イタリア中部地震－

2009年4月6日午前3時30分頃、イタリア中部でマグニチュード6.3の地震が発生。死者約290人、負傷者1,500人、倒壊建物は1万棟以上と発表されました。自宅を失い、仮設テントや車中での生活を強いられている被災者は約2万人おり、断続的な余震に怯えながら、不自由な生活を余儀無くされています(人数は4月13日現在)。



ユニフォームを作ることができました。

－平原ゲンジボタルの里保存会－

【紹介】西尾市平原町ゲンジボタルの里の維持管理を行う(西尾市)

主催行事、特にホタルまつりは夜間の活動で、たくさんのホタル鑑賞者の車両で混雑するため、安全面からも蛍光反射素材のついたユニフォームの着用が切望されていた。今回、はあとふる基金からの寄付でベストと帽子を各70個整えることができ、ボランティア活動を安全に実施することができるようになりました。

